

総合知の活用の先行事例 3

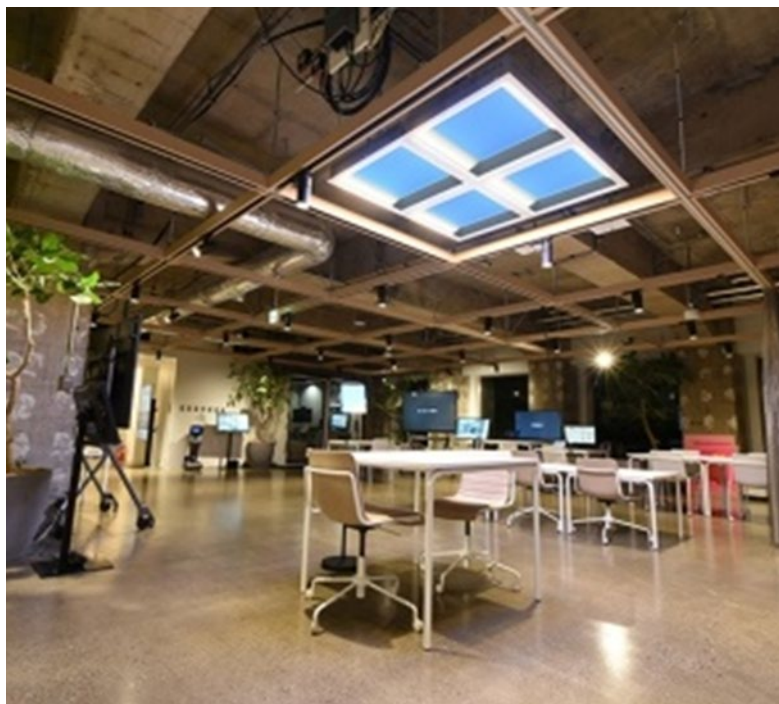
「意味的価値」と「総合知」①

これまで産業界では、“少しでも高機能・高性能な商品”を追求してきたが、高機能・高性能なモノであふれる現在、世の中では“共感・魅了する商品”“世界を少しでも良くする商品”が求められるようになってきた。求められる価値が機能的価値から意味的価値へとシフトしてきている中、三菱電機（株）では、人文社会学者との対話、ユーザー心理・生理への影響の観察を通じて、空間を照らす「機能的価値」に加えて、心に安らぎを与える「意味的価値」を付与した「青空照明® misola」を生み出した。

(注) 「青空照明」「misola」は三菱電機株式会社ならびに三菱電機照明株式会社の登録商標です。

青空照明 = 意味的価値

空間の照度を上げる「機能的価値」よりも、心に癒やしさや安らぎを与える「意味的価値」



<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/lighting/products/fixture/misola/>

意味的価値の一事例「青空照明」

光技術の研究者

「見上げた空そのままの照明ができないか？」

室内空間で青空と自然な光を表現する

照明器具“misola”が誕生



<https://www.mitsubishielectric.co.jp/business/biz-t/special/metoea/hope-for-universe/index.html>

人文科学の視点

照明 = 天井

フレームは邪魔、という思い込み

欲しいのは「窓」

フレームがあるからこそ「日なた」ができる



<https://www.mitsubishielectric.co.jp/business/biz-t/special/metoea/hope-for-universe/index.html>

人文科学×自然科学

慶應義塾大学と三菱電機先端技術総合研究所の共同研究で、青空照明が人に与える心理的・生理的影響の実証実験を行いました。

青空照明を使用した環境では空間全体の印象が良く感じられ、リラックスできる傾向があることがわかりました。
本技術は人に様々な効果を与え、快適な環境をつくることのできる可能性があります。

慶應義塾大学
理工学部システムデザイン工学科
高倉靖恵 教授



異なる照明条件による視環境でのアンケート(5段階評価)を行い、作業前～後の脳波を測定しました。

【実施条件】

- 1.照明条件：①通常照明のみ 4200K 600lx(机上面)
②通常照明とmisolaの組合せ 4200K 700lx(机上面)
- 2.被験者：34名(20代、男性28名、女性6名)
- 3.計測項目：アンケート、脳波(左前頭前野Fp1)
- 4.計測機器：単極脳波計(MindWave Mobile II BMD ver.)
(脳波)

【照明条件】

①通常照明のみ



②通常照明とmisolaの組合せ



アンケート評価

「安らぐ」「穏やかになる」「リラックス」の項目において、

①通常照明のみよりも②通常照明とmisolaの組合せ

の照明環境が優位な結果になりました。

misolaを見ることで心理的な

リラックス効果が期待できます。

